

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年11月13日
【四半期会計期間】	第37期第2四半期（自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日）
【会社名】	株式会社アミューズ
【英訳名】	AMUSE INC.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 畠中 達郎
【本店の所在の場所】	東京都渋谷区桜丘町20番1号
【電話番号】	(03)5457-3333
【事務連絡者氏名】	代表取締役専務取締役 齊藤 泰幸
【最寄りの連絡場所】	東京都渋谷区桜丘町20番1号
【電話番号】	(03)5457-3333
【事務連絡者氏名】	代表取締役専務取締役 齊藤 泰幸
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第36期 第2四半期連結 累計期間	第37期 第2四半期連結 累計期間	第36期
会計期間	自平成25年4月1日 至平成25年9月30日	自平成26年4月1日 至平成26年9月30日	自平成25年4月1日 至平成26年3月31日
営業収入 (千円)	16,521,326	21,078,570	33,770,531
経常利益 (千円)	2,095,857	2,654,711	3,769,181
四半期(当期)純利益 (千円)	1,191,294	1,670,809	2,205,738
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	1,285,336	1,712,260	2,330,209
純資産額 (千円)	16,807,139	18,794,361	17,215,754
総資産額 (千円)	26,687,870	28,689,553	24,791,678
1株当たり四半期(当期)純利益 金額 (円)	134.54	193.54	250.16
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	61.3	63.6	67.6
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	1,197,997	2,185,655	628,579
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	876,798	349,580	943,037
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	161,040	137,236	800,165
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	8,309,956	9,444,666	7,024,401

回次	第36期 第2四半期連結 会計期間	第37期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成25年7月1日 至平成25年9月30日	自平成26年7月1日 至平成26年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	96.57	83.79

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 営業収入には消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

当社グループ（当社及び当社関係会社）は、総合エンターテインメント企業である当社を中心として、当第2四半期連結累計期間に新たに設立いたしましたAMUSE ENTERTAINMENT SINGAPORE Pte.Ltd.、Amuse Group USA, Inc.、(株)TOKYO FANTASY、(株)アミューズクエストを加え、子会社19社及び関連会社4社により構成されることとなりました。

グループ展開により、単なるプロダクションの枠組みを超えて、グループ全体の事業の核を「コンテンツビジネス」におき、文化を創造する総合エンターテインメント集団としての企業基盤の強化を図っております。

なお、当第2四半期連結累計期間における連結子会社は、新たに設立いたしましたAMUSE ENTERTAINMENT SINGAPORE Pte.Ltd.、Amuse Group USA, Inc.、(株)TOKYO FANTASY、(株)アミューズクエストの4社を含め計11社となっております。

事業内容と当社グループの当該事業にかかる位置付けは、以下のとおりであります。

事業区分	主要事業	会社名
アーティストマネジメント事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ イベント収入 （コンサート・イベント・舞台等の収入、ミュージアム・文化施設等の運営収入） ・ ファンクラブ・商品売上収入 （アーティストグッズ等の企画・制作・販売収入、音楽作品の発売による収入、ファンクラブ会費収入） ・ 出演収入・CM収入 ・ 印税収入（新譜） （初回収益計上日より1年以内分） 	当社 タイシタレーベルミュージック(株) (株)A - S k e t c h (株)アミューズエデュテインメント (株)芸神クリエイティブ (株)TOKYO FANTASY AMUSE ENTERTAINMENT SINGAPORE Pte.Ltd. （シンガポール） Amuse Group USA, Inc.（米国） 北京芸神演芸芸術制作有限公司（中国） Amuse Korea Inc.（韓国） 雅慕斯娛樂股份有限公司（台湾） 上海芸神貿易有限公司（中国） Amuse Hong Kong Limited（香港） 艾米斯(上海)传媒有限公司（中国） Khan Enterprise Co.,Ltd.（韓国） (株)MASH A & R
メディアビジュアル事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 映像作品販売収入 ・ 映像製作収入 ・ 番組制作収入 	当社 アミューズソフトエンタテインメント(株)
コンテンツ事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽・映像収入（旧譜） （音楽は初回収益計上日より1年超経過分、映像は同2年超経過分） 	当社 アミューズソフトエンタテインメント(株) タイシタレーベルミュージック(株) (株)A - S k e t c h (株)エアーズ (株)TOKYO FANTASY Kirei Inc.（米国）
その他事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ エンターテインメントライブ・映画・ドラマ作品等収録物の企画・製作・配給・宣伝 ・ ロケーションビジネス及びインバウンドビジネスの企画・開発・運営 ・ 企業及び個人向け人材育成事業収入 ・ ベルギービール等の飲食店の展開、輸入及び卸売販売 	(株)ライブ・ビューイング・ジャパン (株)アミューズクエスト (株)ジェイフィール ブラッセルズ(株) (株)V - S k e t c h

AMUSE ENTERTAINMENT SINGAPORE Pte.Ltd.（シンガポール）につきましては、平成26年4月に新規設立した子会社であり、Amuse Group USA, Inc.（米国）及び(株)TOKYO FANTASYにつきましては、平成26年6月に新規設立した子会社であり、(株)アミューズクエストにつきましては、平成26年7月に新規設立した子会社であります。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）業績の状況

（当第2四半期連結累計期間の経営成績）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）	増減	増減率 （％）
営業収入	16,521	21,078	4,557	27.6
営業利益	2,015	2,571	556	27.6
経常利益	2,095	2,654	558	26.7
四半期純利益	1,191	1,670	479	40.3

〔経済状況〕

我が国経済は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要反動の長期化、海外景気の下振れ懸念など、内外のリスクに留意する必要がありますが、政府、日銀の各種政策効果もあり、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

〔当社グループの事業概況〕

当社グループの経営成績は営業収入210億7千8百万円（前年同四半期比27.6%増）、営業利益25億7千1百万円（前年同四半期比27.6%増）、経常利益26億5千4百万円（前年同四半期比26.7%増）、四半期純利益16億7千万円（前年同四半期比40.3%増）となり、大型コンサートの実施により会場やオンラインショップで販売するグッズ販売収入も含め好調に推移し、増収増益となりました。

<営業収入>

- ・ 当社アーティストによるイベント収入（大型コンサート）が増加
- ・ コンサートに付随してグッズ販売収入が増加
- ・ 当社アーティスト出演作品が好調だったことにより、DVD販売収入が増加
上記要因などにより、増収となりました。

<営業利益、経常利益、四半期純利益>

増収要因により増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（営業収入）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）	増減	増減率 （％）
アーティストマネージメント事業	13,975	16,826	2,850	20.4
メディアビジュアル事業	1,430	2,973	1,542	107.8
コンテンツ事業	1,114	1,278	164	14.7
合計	16,521	21,078	4,557	27.6

(セグメント利益)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	増減	増減率 (%)
アーティストマネージメント事業	2,067	2,459	392	19.0
メディアビジュアル事業	17	142	124	707.4
コンテンツ事業	339	413	73	21.6
調整額	408	442	34	-
合計	2,015	2,571	556	27.6

【アーティストマネージメント事業】

営業収入168億2千6百万円(前年同四半期比20.4%増)、セグメント利益24億5千9百万円(前年同四半期比19.0%増)となり、増収増益となりました。

【主な事業】

- ・ イベント収入：<コンサート>
福山雅治(4-6月)、Perfume(8-9月)
flumpool(4-8月)のコンサートツアー
ボルノグラフィティ、ONE OK ROCKのスタジアムライブ(9月)
BABYMETALのWORLD TOUR日本公演(9月)
昨年度に引続き当社音楽アーティストが一堂に会した野外イベント
「Amuse Fes 2014 BBQ inつま恋」(7月)
<舞台・公演>
熱海五郎一座「天然女房のスパイ大作戦」(6月)
ミュージカル「黒執事」(9月)
- ・ 商品売上収入：コンサートグッズ、flumpoolのベストアルバムなど
- ・ 出演収入・CM収入：福山雅治、大泉洋、佐藤健、三浦春馬、深津絵里、吉高由里子など
- ・ 印税収入(新譜)：福山雅治(4月アルバムCD)、Perfume(4月DVD)

<営業収入>

- ・ イベント収入(大型コンサートの実施)が増加
(前年同四半期はサザンオールスターズ(8-9月)、ONE OK ROCK(5-6月)のコンサートツアー、
熱海五郎一座(6-7月)、黒執事(5-6月)などの舞台を実施)
- ・ 商品売上収入が増加
上記要因などにより増収となりました。

<セグメント利益>

増収要因により増益となりました。

【メディアビジュアル事業】

営業収入29億7千3百万円(前年同四半期比107.8%増)、セグメント利益1億4千2百万円(前年同四半期比707.4%増)となり、大幅な増収増益となりました。

【主な事業】

- ・ 映像作品販売収入：邦画実写歴代6位を記録した「永遠の0」(7月)、福山雅治主演映画「そして父になる」(4月)、佐藤健主演映画「カノジョは嘘を愛しすぎて」(6月)
などのDVD販売収入
- ・ 映像製作収入：「そして父になる」などの劇場配給分配収入

<営業収入>

- ・ 大ヒット映画「永遠の0」に加え、当社アーティスト主演作品が好調だったことにより、DVD販売収入が増加
(前年同四半期は「ガリレオ」(9月)、「グッモーエビアン!」(5月)、「となりの美男(イケメン)」
(8月)などを販売)
上記要因などにより大幅な増収となりました。

<セグメント利益>

増収要因により大幅な増益となりました。

【コンテンツ事業】

営業収入12億7千8百万円（前年同四半期比14.7%増）、セグメント利益4億1千3百万円（前年同四半期比21.6%増）となり、増収増益となりました。

【主な事業】

- ・ サザンオールスターズ、福山雅治、BEGIN、ポルノグラフィティ、Perfumeなどによる旧譜楽曲の販売及び旧譜楽曲の二次使用

<営業収入>

著作権印税の増加、PerfumeのVideoClip集の発売などにより増収となりました。

<セグメント利益>

増収要因により増益となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ24億2千万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には94億4千4百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は下記のとおりであります。

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,197	2,185	987
投資活動によるキャッシュ・フロー	876	349	1,226
財務活動によるキャッシュ・フロー	161	137	23

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は21億8千5百万円（前年同四半期は11億9千7百万円の獲得）となりました。

これは、主に営業債権の増加及び法人税等の支払による資金減少要因等はありませんが、税金等調整前四半期純利益及び営業債務の増加に伴う資金増加要因等が上回ったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は3億4千9百万円（前年同四半期は8億7千6百万円の使用）となりました。

これは、主に子会社株式の取得及び貸付けによる資金減少要因等はありませんが、定期預金の払戻による資金増加要因等が上回ったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は1億3千7百万円（前年同四半期は1億6千1百万円の使用）となりました。

これは、主に配当金の支払による資金減少要因等によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	37,247,040
計	37,247,040

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成26年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成26年11月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	9,311,760	9,311,760	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 100株
計	9,311,760	9,311,760	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成26年7月1日～ 平成26年9月30日	-	9,311,760	-	1,587,825	-	1,694,890

(6)【大株主の状況】

平成26年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
株式会社オオサト	東京都世田谷区下馬4丁目22番2号	2,335.10	25.08
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8番11号	298.60	3.21
大里 洋吉	東京都世田谷区	225.48	2.42
アミューズアーティスト持株会	東京都渋谷区桜丘町20番1号	219.22	2.35
大里 久仁子	東京都世田谷区	218.56	2.35
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11番3号	167.30	1.80
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2丁目7番1号	129.60	1.39
増田 宗昭	大阪府枚方市	118.80	1.28
アミューズ応援団	東京都渋谷区桜丘町20番1号	108.06	1.16
シービーエヌワイナショナルファイナンシャルサービシスエルエルシー (常任代理人 シティバンク銀行株式会社)	1209 ORANGE STREET, WILMINGTON, NEW CASTLE COUNTRY, DELAWARE 19801 USA (東京都新宿区新宿6丁目27番30号)	102.73	1.10
計	-	3,923.45	42.13

- (注) 1. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)、日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)の所有株式数のうち信託業務に係る株式数は、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)298.60千株、日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)167.30千株であります。
2. 上記のほか、自己株式が679.40千株あります。

(7)【議決権の状況】
【発行済株式】

平成26年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 679,400	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,455,100	84,551	-
単元未満株式	普通株式 177,260	-	-
発行済株式総数	9,311,760	-	-
総株主の議決権	-	84,551	-

(注)「完全議決権株式(その他)」の「株式数」欄には、証券保管振替機構名義の株式が200株含まれております。
また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数2個が含まれております。

【自己株式等】

平成26年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 株式数の割合 (%)
株式会社アミューズ	東京都渋谷区桜丘町 20番1号	679,400	-	679,400	7.30
計	-	679,400	-	679,400	7.30

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,049,520	11,468,849
受取手形及び営業未収入金	4,042,575	5,159,313
商品及び製品	1,297,490	1,330,801
仕掛品	1,921,201	1,590,525
貯蔵品	51,273	47,529
その他	1,396,170	2,498,242
貸倒引当金	288,321	325,954
流動資産合計	18,469,911	21,769,307
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,005,643	1,105,037
土地	2,047,730	2,036,746
その他(純額)	185,342	177,610
有形固定資産合計	3,238,715	3,319,393
無形固定資産	198,723	193,250
投資その他の資産		
投資有価証券	1,352,153	1,525,791
その他	1,538,270	1,887,891
貸倒引当金	6,096	6,081
投資その他の資産合計	2,884,327	3,407,601
固定資産合計	6,321,766	6,920,245
資産合計	24,791,678	28,689,553

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	5,185,239	7,106,175
未払法人税等	705,419	1,050,548
役員賞与引当金	25,000	-
返品調整引当金	7,400	8,600
その他	675,541	703,421
流動負債合計	6,598,600	8,868,744
固定負債		
役員退職慰労引当金	16,472	16,472
退職給付に係る負債	898,152	945,136
その他	62,697	64,838
固定負債合計	977,322	1,026,447
負債合計	7,575,923	9,895,191
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,587,825	1,587,825
資本剰余金	1,694,890	1,694,918
利益剰余金	14,472,559	15,949,122
自己株式	924,923	926,913
株主資本合計	16,830,350	18,304,951
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,335	24,465
為替換算調整勘定	93,052	74,258
その他の包括利益累計額合計	74,716	49,792
少数株主持分	460,120	539,202
純資産合計	17,215,754	18,794,361
負債純資産合計	24,791,678	28,689,553

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第 2 四半期連結累計期間】

(単位 : 千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年 9 月30日)
営業収入	16,521,326	21,078,570
営業原価	13,044,218	16,615,947
営業総利益	3,477,107	4,462,623
返品調整引当金繰入額	-	1,200
返品調整引当金戻入額	27,930	-
差引営業総利益	3,505,037	4,461,423
販売費及び一般管理費	1,489,311	1,889,674
営業利益	2,015,726	2,571,748
営業外収益		
受取利息	2,993	4,126
受取配当金	4,109	15,145
為替差益	42,365	41,535
受取手数料	7,409	7,333
事業組合投資利益	-	48,701
持分法による投資利益	14,966	-
貸倒引当金戻入額	10,531	-
その他	2,312	2,985
営業外収益合計	84,689	119,826
営業外費用		
持分法による投資損失	-	36,340
事業組合投資損失	218	-
固定資産除却損	4,336	287
その他	3	235
営業外費用合計	4,558	36,863
経常利益	2,095,857	2,654,711
税金等調整前四半期純利益	2,095,857	2,654,711
法人税、住民税及び事業税	751,997	1,031,920
法人税等調整額	106,319	64,544
法人税等合計	858,317	967,375
少数株主損益調整前四半期純利益	1,237,539	1,687,336
少数株主利益	46,245	16,526
四半期純利益	1,191,294	1,670,809

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,237,539	1,687,336
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,123	6,130
為替換算調整勘定	38,672	18,794
その他の包括利益合計	47,796	24,924
四半期包括利益	1,285,336	1,712,260
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,239,091	1,695,734
少数株主に係る四半期包括利益	46,245	16,526

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,095,857	2,654,711
減価償却費	97,509	102,415
貸倒引当金の増減額(は減少)	10,531	37,617
役員賞与引当金の増減額(は減少)	37,200	25,000
返品調整引当金の増減額(は減少)	27,930	1,200
退職給付引当金の増減額(は減少)	35,765	-
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	-	46,983
受取利息及び受取配当金	7,103	19,272
持分法による投資損益(は益)	14,966	36,340
事業組合投資損益(は益)	218	48,701
固定資産除却損	4,336	287
営業債権の増減額(は増加)	1,907,252	1,114,358
たな卸資産の増減額(は増加)	822,479	301,672
営業債務の増減額(は減少)	3,134,533	1,919,735
未払消費税等の増減額(は減少)	20,576	72,527
その他の流動資産の増減額(は増加)	55,166	891,124
その他の流動負債の増減額(は減少)	290,812	9,006
その他	126,366	238,267
小計	2,127,790	2,845,774
利息及び配当金の受取額	7,237	10,826
法人税等の支払額	941,488	692,833
法人税等の還付額	4,457	21,889
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,197,997	2,185,655
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	2,500,000	1,500,000
定期預金の払戻による収入	2,000,000	2,500,936
有形固定資産の取得による支出	29,831	183,608
有形固定資産の売却による収入	-	5,000
無形固定資産の取得による支出	45,587	49,342
投資有価証券の取得による支出	270,400	-
子会社株式の取得による支出	-	200,459
貸付けによる支出	-	227,620
貸付金の回収による収入	1,550	12,729
その他	32,529	8,055
投資活動によるキャッシュ・フロー	876,798	349,580
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	3,761	2,098
自己株式の売却による収入	-	137
少数株主からの払込みによる収入	-	73,500
配当金の支払額	132,400	192,974
少数株主への配当金の支払額	19,530	10,944
その他	5,348	4,855
財務活動によるキャッシュ・フロー	161,040	137,236
現金及び現金同等物に係る換算差額	23,462	22,265
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	183,620	2,420,265
現金及び現金同等物の期首残高	8,126,336	7,024,401
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,309,956	9,444,666

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、AMUSE ENTERTAINMENT SINGAPORE Pte.Ltd.、Amuse Group USA, Inc.及び(株)T O K Y O F A N T A S Yの3社を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。また、当第2四半期連結会計期間より、(株)アミューズクエストを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
退職給付費用	12,758千円	15,238千円
貸倒引当金繰入額	-	37,868

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
現金及び預金勘定	11,333,431千円	11,468,849千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	3,023,474	2,024,182
現金及び現金同等物	8,309,956	9,444,666

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月23日 定時株主総会	普通株式	132,830	15.0	平成25年3月31日	平成25年6月24日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間
末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年11月13日 取締役会	普通株式	199,209	22.5	平成25年9月30日	平成25年12月5日	利益剰余金

(注) 1株当たり配当額の内訳 普通配当 15円 記念配当 7.5円

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年6月22日 定時株主総会	普通株式	194,247	22.5	平成26年3月31日	平成26年6月23日	利益剰余金

(注) 1株当たり配当額の内訳 普通配当 15円 記念配当 7.5円

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間
末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年11月13日 取締役会	普通株式	129,485	15.0	平成26年9月30日	平成26年12月5日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	アーティスト マネージメント 事業	メディア ビジュアル 事業	コンテンツ 事業	計		
営業収入						
外部顧客への 営業収入	13,975,751	1,430,722	1,114,852	16,521,326	-	16,521,326
セグメント間 の内部営業収 入又は振替高	26,928	87,879	52,584	167,392	167,392	-
計	14,002,679	1,518,602	1,167,437	16,688,719	167,392	16,521,326
セグメント利益	2,067,067	17,609	339,694	2,424,372	408,646	2,015,726

(注)1. セグメント利益の調整額 408,646千円には、セグメント間取引消去13,789千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 422,436千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	アーティスト マネージメント 事業	メディア ビジュアル 事業	コンテンツ 事業	計		
営業収入						
外部顧客への 営業収入	16,826,392	2,973,307	1,278,870	21,078,570	-	21,078,570
セグメント間 の内部営業収 入又は振替高	34,707	128,591	64,459	227,758	227,758	-
計	16,861,100	3,101,898	1,343,329	21,306,328	227,758	21,078,570
セグメント利益	2,459,372	142,175	413,120	3,014,668	442,920	2,571,748

(注)1. セグメント利益の調整額 442,920千円には、セグメント間取引消去7,448千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 450,368千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	134円54銭	193円54銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	1,191,294	1,670,809
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	1,191,294	1,670,809
普通株式の期中平均株式数(株)	8,854,273	8,632,922

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

当社は、平成26年10月21日開催の取締役会において、新事業「東京ワンピースタワー」プロジェクトの実施にあたり、当社連結子会社株式会社アミューズクエストによる有限責任事業組合の設立を決議し、平成26年10月22日付で当該有限責任事業組合を設立いたしました。

〔有限責任事業組合の概要〕

名称	Amusequest Tokyo Tower有限責任事業組合
所在地	東京都港区芝公園四丁目2番8号
代表者の氏名	業務総括組合員 株式会社アミューズクエスト
出資の額	3,000百万円
主な事業の内容	東京タワーフットタウンビルにおけるテーマパーク「東京ワンピースタワー」の企画・制作及び興行
設立年月日	平成26年10月22日
開業予定	平成27年春予定
出資持分	1,640百万円(内、間接保有 1,640百万円)
業務執行の権限に対する割合	54.67%(内、間接保有 54.67%)

2【その他】

平成26年11月13日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額.....129,485千円

(ロ) 1株当たりの金額.....15円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成26年12月5日

(注) 平成26年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払を行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年11月13日

株式会社アミューズ

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 百井 俊次 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 石田 大輔 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社アミューズの平成26年4月1日から平成27年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社アミューズ及び連結子会社の平成26年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。